

おでだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN



◀ ロスアンゼルスコンベンションセンターUS-JAPAN EXPO'98のメイン舞台で参加者を交えて“お手玉妙技”



▶ 見事優勝
「ならまらわらべうたフェスタチーム」
第七回お手玉遊び大会

特集

ジャパンエキスポ
参加報告

- お便りコーナー
- 全国レクリエーション大会参加報告
- 平成10年お手玉の会の主な歩み
- 第7回全国お手玉遊び大会報告
- 福井支部・神戸支部発足の会告
- 第8回全国お手玉遊び大会予告
- 支部設置規程

ロス「ジャパンエキスポ」報告

日本お手玉の会は、昨年十一月二十八日、二十九日の両日、日米ネットワーク社が主催して、アメリカのロスアンゼルス市で開催された、「USジャパン・エキスポ98」に参加しました。日本のお手玉の会としては、これが5回目の海外遠征です。

「ジャパンエキスポ98」は、日本の古きよき伝統文化をアメリカの方々に紹介・普及すると同時に、日本の大企業から個人企業までの製品の紹介や、各地域の物産を展示・即売を行っていました。

このイベントを通じて、日系の方々に故国を懐かしみ、楽しんでもらうと同時に、幅広くアメリカ社会に日本の産業と文化についての理解を得るのが目的で、年1回、十一月末にロスアンゼルスで開催されており、今年は十九回目でした。

会場は、ロスアンゼルス市のダウンタウンの一角にあるコンベンションセンターで、今年の来訪者は昨年より三〇%多い七万人でにぎわいました。

日本のお手玉の会のコーナーは、予想を上回る人気を呼び、作り方・遊び方の指導には、多くの人々が詰め掛け、終日大人気で舞台での実演にも、たくさんの方々の参加がありました。おかげさまで、予定したお手玉の材料が初日で底をつき、布や小豆などの材料を急ぎよ現地調達したり、お手玉をホテルで夜なべをして作成するなどのハプニングもありました。

日本のお手玉の支部づくりについても、現地の方と話ができて確かな手応えを得た。

たくさんの方々の地元の人々と会員が笑顔で交わり、ともに楽しみながら、日米の友好親善を深め、大きな成果を収めました。

「ジャパンエキスポ」等の活動内容

- (1) 十一月二十八日(土) エキスポ第一日(コンベンションセンター) 展示・作り方・遊び方教室を開く
舞台でお手玉のアモンストレーション
- (2) 十一月二十九日(日) エキスポ第二日(コンベンションセンター) 展示・作り方・遊び方教室を開く
会場で支部作りについて話し合う
- (3) 十一月三十日(月) 日系敬老ホーム訪問(ロスアンゼルス市)
お手玉の演技披露と老人とのお手玉交流

日本のお手玉の会からの参加者

今回の参加者は、福井、東京、広島、愛媛の4都府県から、お手玉の会の会員十九人、アメリカ在住の二人が合流。会員の現地の友人三人の協力もありました。

全国お手玉遊び大会の一般部「両手3個ゆり」で優勝している今村シメ子さん(新居浜市)や「両手5個ゆり」「片手4個ゆり」ができる「お手玉の達人」の藤田穂三さん(新居浜市)が、エキスポ会場でのデモンストレーションと、敬老ホームで達人の技を披露しました。



▲ 前夜祭でデモンストレーション



▲ たくさん売れました

5度目の海外遠征は大きな成果

「ジャパンエキスポ」の具体的な成果

- (1) 日系人や現地での生活が長い日本人に故国を懐かしんでいただきました。
- (2) 日本の伝承遊び「お手玉」の国際的な理解と普及に貢献できました。
- (3) お手玉遊びは「世界の無形文化財」であることの理解が広められました。
- (4) 「世界お手玉遊び大会」を開くための足掛かりが前進しました。
- (5) コンピューター社会の現在に「手作り遊び」の大切さをPRできました。
- (6) 日本のお手玉の会の支部づくりについて大きな手がかりが得られました。



▲ 観客を魅了

十一月二十八日(土)、エキスポ本番第一日目。展示・作り方遊び方教室を開きました。作り方のコーナーは、十時の開場と同時に十五席のすべてが埋まり、立ったまままで縫うほどの盛況ぶりです。参加者はお子様からお年寄りまで、幅広い年齢層で、国籍も日系人に限らず、アメリカ人をはじめ各国の人が集まりました。そして、ついに日本から持参したお手玉の材料の小豆やプラスチックペレット、布が底をついた。急きょ材料を現地調達することになり、イベント会場で物色。小豆の代わりにお米を、電気炊飯器の販売コーナーが抽選会の賞品に準備していたものを提供してもらい、布は、日本の古い着物の即売コーナーで購入しました。また、即売用のお手玉も少なくなり、夜ホテルの部屋で夜なべをして一〇〇個縫い上げ、これはまったく予定外の作業でした。

一日でお手玉の材料を使い切る

十一月二十八日(土)、エキスポ本番第一日目。

展示・作り方遊び方教室を開きました。

作り方のコーナーは、十時の開場と同時に十五席のすべてが埋まり、立ったまままで縫うほどの盛況ぶりです。参加者はお子様からお年寄りまで、幅広い年齢層で、国籍も日系人に限らず、アメリカ人をはじめ各国の人が集まりました。

ロス市内の老人ホームを訪問

十二月一日、ロスアンゼルス近郊の日系人敬老ホームを訪問しました。60人を超える入居者が集まった中で、お手玉遊びを披露しました。わらべ歌を流しながらお手玉を演じたが、参加した入居者は、曲に合わせて歌を口ずさみながら、目を輝かせて会員の仕草を真剣に見つめ、大きな拍手をいただきました。

お年寄りにお手玉を渡し、会員のリードでお手玉を使った指先の運動を指導すると、お手玉の感触を確かめながら、昔を懐かしむように穏やかな表情で、真剣に取り組んでくれました。最後に会員とお年寄りが輪になり、童謡を歌いながらお手玉回しを楽しんでいただきました。

会員は、お年寄り一人一人と硬く手を握り合いながら、お互いの健康を祈りあい、再会を誓いあいました。



▲ ジャグラーと共演



▲ 日系老人ホームで交流 ▼



ロス支部 結成についての話し合い

お手玉コーナーを訪ねてくれた多くの方から、「お手玉の会の支部ができるのだそうですね。ぜひ仲間に入れてください。」と、声を掛けられました。よく聞くと、開会前日の新聞に紹介されていたという。その新聞記事とは、現地の「羅府新報」(RAFU SHINBO)8.11.27付でジャパン・エキスポを主催している日米ネットワークの増田知生社長の次のようなインタビュー記事。「二大『日本祭り』に―地元遠元型の催し目指す」。

「来年は20回。エキスポ開催期間を超えるつながりができる企画を、増田さんは考えている。「今回の愛媛県のお手玉グループは、こちらでの支部づくりを目指している。このような地元遠元型の参加者、団体が増えればもっと大きな祭りになっていくと思う。日米の懸け橋が目標です」。

支部作りについて、事前にお願していた人にも会場で会い、組織づくりについて話し合うことができました。その結果、ロスアンゼルス市だけでなく、サンジエゴ市にも支部誕生の話が持ち上がり、来年の一月には、アメリカ本土に二つの支部ができることになりました。

二日間の期間中に「芳名録」には九五人の署名が記録され、その中には「支部ができたら教えてください。ぜひ参加したいから。」と書き添えられたものが十件もありました。



お手玉をしてくれました(Ⅰ)



お手玉をしてくれました(Ⅱ)



お手玉作ってくれました



お手玉をしてくれました(Ⅲ)

お便りコーナー

(1) 平成十年十月二十三日

私どもの市におきましては、子どもたちの教育環境を見直していこうという動きの中で、来年一月竹トンボ飛ばし大会を、二月にお手玉大会を予定しています。貴重なビデオをお貸しいただきまして、誠にありがとうございました。楽しく拝見させていただきましたが、技の多彩なことや段上位者の美しいさばき方に今更ながら驚いてしまいました。

須崎市教育委員会 森

晩

(2) こんにちは、お手玉の会の皆様お元気ですか？先日、田中邦子先生に会いに大津へ行ってきました。いろいろ教えてもらっちゃいました。楽しかったです。この間、近くの公民館の人に話をしてきました。なんとか来年5月に「昔からのあそび」ということでイベントができそうです。和室ではお手玉をする予定なので今一生けんめいお手玉を作っています。

伊勢崎市 飯塚 千砂

(3) お手玉を見直し復活を願って今年地域のみなさんにも学校開放講座でお話させていただき一緒に作り遊びました。

新潟県立八海高校

福祉科教員 小野塚 美代子



第52回 全国レクリエーション大会 in 愛媛に参加

昨年9月5日に松山市及びその周辺地域で開催された全国レクリエーション大会に会として参加要請があり初めて参加しました。会場ではお手玉づくり教室と実技指導を行いました。

県外から参加した女子短大生が小さな変わりお手玉をいくつも作り満足そうな顔をしていたのが印象に残っています。全国のレクリエーション指導者の皆さんと親しくなり、レク指導にお手玉を取り入れていただける期待も高まりました。平成11年には奈良市で開催され本会からも参加をします。

[日本のお手玉の会の主な歩み] 平成10年

- | | | | |
|-------|---|-----------|-------------------------------------|
| 1月14日 | 宮城まり子講演会にてお手玉贈呈（新居浜） | | 神戸支部設立 |
| 2月7日 | 愛媛出版文化賞祝賀会パーティー（リーガロイヤルホテル新居浜にて） | 8日 | 新居浜少年少女合唱団へのお手玉指導 |
| 16日 | 今治地区ふるさとづくり推進大会にてお手玉教室（今治市民会館） | 23日 | 鳥取支部より打ち吹き土蔵まつりへの参加（武田会長） |
| 17日 | ふるさとづくり振興奨励賞受賞（新居浜市市民文化センター） | 9月5日 | 【第52回全国レクリエーション大会 in 愛媛】参加 |
| 21日 | 京都府八幡市にてお手玉教室（男山市民図書館） | 22日 | 第7回全国お手玉遊び大会前夜祭（郷土料理新居のいもたき） |
| 22日 | 滋賀県近江街にてお手玉遊び大会本部参加 | 23日 | 第7回全国お手玉遊び大会 |
| 24日 | 愛媛県立新居浜西高等学校にてクラブ活動等、指導 | 10月2日 | 全国生涯学習フェスティバル in 兵庫【まなびピア兵庫】に参加 |
| 28日 | お手玉教室（今治おもちゃ図書館にて） | 8日 | 東京にて「ロスアンゼルス、JAPAN EXPO」の打合せ（宮中、藤田） |
| 4月27日 | 東京新聞安田様来訪取材 | 27日 | おおず赤煉瓦館にて大洲小学校3年生、特殊学級生対象にお手玉披露と指導 |
| 28日 | 愛媛県立新居浜西高等学校にてクラブ活動等、指導（平成10年度第1回） | 30日 | おおず赤煉瓦館にて一般の方対象にお手玉披露と指導 |
| 5月4日 | 世田谷文化生活情報センター【くりっく】にて東京支部によるお手玉遊びに本部から参加（5/4～7） | 11月1日 | 第27回西条市玉津校区文化祭にてお手玉作り指導 |
| 10日 | 宮中雲子音楽祭【第1回日本の合唱コンクール】に日本のお手玉の会として協力参加（三瓶町文化会館） | 3日 | ㈱第三文明社より子育てネットワーク誌【灯台】の取材 |
| 7月8日 | 今治より来訪、越智様にお手玉指導（ネパールにてお手玉交流のため） | 8日 | 【玉川町お手玉遊び大会】にて審判、お手玉作り指導 |
| 19日 | 【ならまつり】にてお手玉予選奈良大会に本部として参加 | 10日 | 愛媛長寿学園にてお手玉講座 |
| 8月2日 | 南海放送テレビ「あんなことして遊んだよネノ」出演 | 26日～12月3日 | ロスアンゼルスにて【US-JAPAN EXPO'98】に参加 |
| 4日 | 神戸市須磨区にてお手玉出張教室 | 12月22日 | 松山県民文化会館にて【松山市論理法人モーニングセミナー】でお手玉講演 |

19都府県から800人が参加 団体戦は「ならまち」が接戦の末に2連覇



▶ 会場はこのとおり一杯



第七回全国お手玉遊び大会は、九月二十三日（秋分の日）に、新居浜市のリーガロイヤル新居浜で開催しました。

前日の台風七号の影響で、県外者の参加が危ぶまれましたが、時間や交通機関を変更するなどして、予定された一九都府県の皆さんが参加しました。

競技には、個人戦に約三九〇人、団体戦一般の部に七四チーム、小学生の部に八チームの計八二チームで四一〇名、合計八〇〇人が参加しました。一般キヤウリーも含めて、約三、〇〇〇人というたくさんの方が参加してくださいました。

*バラエティに富んだアトラクション

今年のアトラクションは、木村一恵ちゃん（広島市）と秋月久幸さん（新居浜市）による、一輪車に乗って2個、3個のお手玉ゆる妙技や、藤井圭治さん、昭子さんご夫妻（福岡市）の「南京玉すだれの」の演技が披露されました。

また、新堂ファミリー（八幡浜市）の、お父さんの新堂弘明さん、お母さんの祥子さん、長男の弘大くん、長女の真亜子ちゃん、次女の伊織ちゃん、三女の由乃ちゃんの一家6人によるコーラスは、会場をわかせました。

昼休みには、殿川早苗さんら勝浦お手玉の会のみなさん（徳島県勝浦町）による、オリジナルのお手玉演舞が演じられ、観衆のみなさんを楽しませてくれました。

飛び入りで参加したスポーツインストラクターの渡辺静恵さん（東京都世田谷区）は、「水戸黄門」の主題歌にあわせた愉快的体操で、会場の全員が体と心をいやしました。



▲ 一輪車でお手玉



▲ 南京玉すだれでゴザイ



▲ 一家6人の芸能団元気で楽しいファミリー



▲ 前夜祭はお手玉ハウス前で全国の皆さんと情報交換

予
告

第8回全国お手玉遊び大会

- 開催日 平成11年9月12日(日)
- 開催場所 愛媛県新居浜市
リーガロイヤルホテル新居浜



支部設置規程から

平成11年3月1日施行内容

1 支部設置の目的

お手玉を愛する会員が地域ごとに集まり楽しい仲間
の会(支部)をつくり、親睦融和を図り、またその地
域にあったお手玉の普及活動をして、その地域のまち
づくりに貢献すること、およびお手玉の普及活動を広
範に行うことによって日本のお手玉の会発展に寄与す
ることを目的とする。

2 支部設置の条件

- (1) お手玉愛好者の集まりであること
- (2) 会員数は1支部あたり10名以上とする
- (3) 国内、海外とわず地域的制限は設けない

3 支部設置要綱

支部を設置するときは、日本のお手玉の会(以下本
部という)の指導により下記の要領により諸手続きを
しなければならない

- (1) 支部設置申請書(本部にあります)に必要事項を
記入し、10名以上の会員名簿とともに本部へ提出す
ることとする。
- (2) 設置する会の名称(支部名)及びその代表者(会
長・支部長)及び役員はその支部で決定することと
する。
- (3) 代表者は本部役員(支部長)をお願いする。
- (4) 本部は、支部設置申請書を役員会で審議し、問題
が無ければ認定する。
- (5) 本部は、支部認定書及び各会員の会員証を発行し
新設支部代表者に送付する。

日本のお手玉の会会員募集中!

年会費 3,000円

4 支部設置・運営に係わる費用

- (1) 認定料
 - ・新設支部は認定料10,000円/1支部1回を本部に
納入することとする。
 - ・本部は額入り認定書の作成、送料、資料費等に充
当する。
 - ・認定料の納入は設置申請書提出と同時とする。
- (2) 会費
 - ・会員の会費は年額3,000円/1人とし、支部にお
いて徴収する。
 - ・支部は、徴収した3,000円の内、1,000円/1人を
本部運営費として本部に一括納入することとし、
2,000円を支部活動費として支部で使用する。
 - ・会費の納入は、初年度は設置申請書提出と同時と
し、次年度からは毎年度初めとする。ただし、初
年度の会費は半期計算とし7月1日以降の支部設
置の場合半額とする。
 - ・支部は、毎年当初に支部会員の入退会の状況を本
部に報告するとともに該当年度の会費を本部に納
入しなければならない。

5 事業・活動・運営

- (1) 支部は、その地域にあった独自の運営で目的達成
に努める。
- (2) 支部は「日本のお手玉の会」の名称を使い広報す
ること及び本部が扱うキャラクター製品等を扱うこ
とができる。
- (3) 本部は、情報の提供、支部が行う事業・イベント
の後援等支部活動を支援する。



発行・編集
日本のお手玉の会 会報編集委員会
〒792-0811 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

TEL-FAX/0897-36-0600
E-mail: tamachan @ otedama. shikoku. ne. jp
ホームページ
http://www.shikoku.ne.jp/otedama/